

**令和元年度
第3回豊川市社会教育審議会
会議録**

令和2年2月18日（火）開催

日時：令和2年2月18日（火）午後3時30分 開会
会場：豊川市音羽文化ホール 大会議室

出席委員

会 長	細 野 文 治
副 会 長	穴 吹 富貴子
委 員	黒 谷 豪
委 員	柴 田 功 己
委 員	井 上 豊 重
委 員	天 野 保 幸 子
委 員	中 村 詠 子
委 員	権 田 静 司
委 員	片 桐 早奈美
委 員	山 川 和 明 子
委 員	塚 越 京 子
委 員	藤 原 利 江 見
委 員	大光明 隆 見

以上13名

事務局

教育長	高 本 訓 久
教育部長	原 田 潔
教育部次長	前 田 清 彦
中央図書館長	近 藤 慎 一
中央図書館主幹	尾 崎 浩 司
スポーツ課長	戸 莉 憲 司
生涯学習課長	林 弘 之 一
課長補佐	大 茂 陽 一
係長	鈴 木 理 之 司
主事	林 雅 司

以上10名

議題

- 1 令和2年度教育委員会（社会教育）の予算概要（社会教育関係団体補助事業）及び主要事業について
- 2 令和元年度実施「豊川市の生涯学習に関する市民アンケート調査」報告書について
- 3 その他
 - （1）豊川市公民館・生涯学習会館再編方針（案）について（報告）
 - （2）第2期豊川市スポーツ振興計画について（報告）

(午後3時30分 開会)

「事務局」 皆様、大変お忙しい中をご参集いただきましてありがとうございます。定刻になりましたので、ただ今より、令和元年度第3回社会教育審議会をはじめさせていただきます。

それでは、はじめに細野会長よりご挨拶をお願いいたします。

「会長」(あいさつ)先月は、多数の委員の皆様には豊田市への視察にご参加いただきましてありがとうございました。大変参考になったことと思います。予算規模等で差があるため、そのまま本市に導入することは難しいかと思いますが、参考になる部分も多いのではないのでしょうか。一昨年に視察した大清水のミナクルも同様に、明るくて、多機能で、市民が気軽に立ち寄れるというのが、今後の公民館等の施設のあり方だと思います。小坂井にも期待しています。今年度最後の審議会になります。議題は数多くありますが、委員の皆様には積極的かつ効率的なご質問・ご意見をお願いできればと思います。

「事務局」 ありがとうございました。つづきまして、高本教育長よりご挨拶を申し上げます。

「教育長」(あいさつ)3回目ということで、今年度最後の会議となります。盛り沢山の内容ではありますが、思うことはしっかりご発言いただいて、良い年度の締めくくりにしていただければと思います。

「事務局」 ありがとうございました。なお、本日は13名の委員全員が出席されておりますので、会議開催の定足数であります2分の1以上の出席者を満たしておりますことを、ここでご報告申し上げます。

それでは、これからの議事進行につきましては、豊川市社会教育審議会規則第4条に基づき、会長のもとで進めていただきたいと思います。

それでは、細野会長よろしくお願いいたします。

「会長」 それでは、次第に従いまして、議事に入ります。

議題(1)の2月に教育委員会から諮問のありました「令和2年度教育委員会(社会教育)の予算概要(社会教育関係団体補助事業)及び主要事業」について、事務局から説明をお願いします。

「事務局」 議題(1)「令和2年度教育委員会(社会教育)の予算概要(社会教育関係団体補助事業)及び主要事業」について資料に基づき説明

令和2年度社会教育関係団体補助事業について

《生涯学習課》

豊川市小中学校PTA連絡協議会以下、各種関係団体へ今年度と同額の補助

3月議会に上程される予算案が可決されれば、上限額にて予算が確定する予定
《スポーツ課》

26小学校区体育振興会補助・総合型地域スポーツクラブ補助については、今年度と同額

体育協会補助については、4月より「スポーツ協会」に変更する関係で、事務費等を見込み、今年度から若干の増額

第2期豊川市教育振興基本計画に基づく主要事業について

基本目標1

生涯学習課

豊かな心と健やかな体を育む教育を実現します

施策⑧文化遺産の継承と新たな文化の創造

文化遺産の保護・活用の環境づくり

●三河国分寺跡保存整備事業（実）

- ・今年度中に用地買収が概ね完了し、基礎資料収集のための発掘調査を開始

ふるさと意識の醸成

●大橋屋管理運営事業

- ・開館以来、令和2年1月末現在で12,107人の来館者

中央図書館

施策⑥読書活動の推進

「マイブックプロジェクト」の推進

●マイブックプロジェクト事業

- ・9年目の事業となる
- ・生徒、学校、協力書店へのアンケートを実施

基本目標2

社会教育関係事業

社会の変化に答える確かな学力を育成します

なし

基本目標3

生涯学習課

豊かな人生を自らが築く生涯学習社会を確立します

施策①生涯学習の振興

地域生涯学習の推進

●地域生涯学習事業（実）

- ・平成30年度は、347講座に5,382人が参加
- ・事業における新たな展開として企業連携を模索
- ・平成29年度には市内の事業所へ、今年度は農業者及び商業者へアンケートを実施

スポーツ課

施策③生涯スポーツの振興

スポーツイベントの開催支援

●トヨカワシティマラソン大会

- ・ゲストランナーの常時招聘を開始

スポーツ選手・団体への活動支援

- スポーツ合宿支援事業（実）
 - ・スポーツの交流人口拡大を図る
 - ・施設の情報発信や宿泊費の助成を実施

トップレベルに触れる機会の充実

- トップアスリートふれあい交流事業（実）

中央図書館

施策④図書館サービスの充実

電子図書館サービスの充実

- 電子図書館事業（実）
 - ・平成30年度末時点で5,818人の登録者
 - ・令和元年12月末で3,338タイトル、4,975冊
 - ・昨年6月の公布・施行の「視覚障害者の読書環境の整備の推進に関する法律」の基本理念に電子図書館の活用が明記

基本目標 4

魅力ある教育環境づくりを進めます

生涯学習課

施策④地域教育力の向上支援

子ども・若者への各種支援

- 子ども・若者支援事業（実）
 - ・少年愛護センターにて相談活動、カウンセリングを実施
 - ・年間250件ほどの相談があり、ひきこもり、不登校、就労不安が多く、解決に時間を要する内容がほとんど

スポーツ課

施策⑤スポーツ環境の整備

体育施設の整備

- 市内体育施設整備事業
 - ・小坂井B&G海洋センターの換気装置
 - ・総合体育館のトイレ換気扇
 - ・足山田野球場フリーク修繕
 - ・スポーツ公園常用芝刈機・空手試合用タイマーの購入

中央図書館

施策⑦読書環境の充実

図書館施設などの整備

- 中央図書館・ジオスペース館屋上及び外壁改修事業（実）

「会長」ただいまの説明について、ご意見等がありましたらご発言ください。

「委員」「マイブックプロジェクト」が来年度も継続ということでとてもうれしく思います。巡回司書をしているので分かるのですが、必ずしも全員が購入しているわけではありません。余ってしまった分について、他に有効利用することはできないのでしょうか。

「事務局」 おっしゃるとおり、毎年全員が購入しているわけではありません。余った予算を別で使うとなると、目的が違うとなかなか難しいところがあります。学校にも、この事業以外に読書活動を推進する予算があります。今後は実施学年の再検討などもあるかと思えます。また、協力書店は市の中心部に多く、生徒だけでは簡単に買いに行けないという実情もあります。昨年度から「図書館体験会」という事業を始めました。初めて図書館を利用して、自分で選んで本を借りるという体験をしてもらいます。

「委員」 P6の放課後子ども教室について、2年前まで講師をしていて、当時の審議会の中でも準備・片付けの大変さや、謝礼についての話をしました。現在、そのあたりは改善されているのでしょうか。

「事務局」 当時いただいた意見をもとに内規等を定め、子どもの人数に対して講師謝礼を確実に支払えるよう改善しました。

「会長」 他にご意見もないようですので、原案どおりご承認いただいたものとしてよろしいですか。

(委員：異議なし)

「会長」 それでは、議題(1)「令和2年度教育委員会(社会教育)の予算概要(社会教育関係団体補助事業)及び主要事業」について、諮問どおり実施されますよう要望いたしまして、本日付けで答申することといたします。

「会長」 次に議題(2)令和元年度実施「豊川市の生涯学習に関する市民アンケート調査」報告書について、事務局より説明をお願いします。

「事務局」 令和元年度実施「豊川市の生涯学習に関する市民アンケート調査」報告書について、資料に基づき説明

調査目的：令和2年度策定予定の「第3次豊川市生涯学習推進計画改定版」に、市民の意見を反映させる

調査対象：市内居住の16歳以上の男女2,000人

抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出

調査時期：令和元年10月11日～11月1日

調査方法：郵送配布・郵送回収

回収数：764人(38.2%)

以下、改訂版策定に係る重点設問を抜粋して説明

問 2 生涯学習が大切だと思うか

- ・ 81. 2%が「大切だと思う」と回答、年齢が若いほど割合が高い

問 4 生涯学習活動と思われる活動を行っているか

- ・ 44. 4%が「特に行っていない」と回答、前回は38. 5%
- ・ 前回調査と同様に、「スポーツ・レジャーに関するもの」が最も多く、次いで「健康づくりに関するもの」

問 7 どんな分野の学習情報を望むか

- ・ 「市の講座・催物の各種情報」が最も多く、前回調査の6倍超の回答

問 8 市の生涯学習事業についての情報を得る方法として何が重要か

- ・ 「広報とよかわの掲載内容の充実」が最も多く、次いで「インターネットやホームページ等を活用した情報の提供」
- ・ 男女とも同傾向で、インターネットによる情報提供は50歳代までの支持が多く、60歳代からは支持が落ち、印刷物等の紙媒体への支持が多くなる

問 10 今後学びたい学習分野はどれか

- ・ 「健康づくりに関するもの」が最も多く、次いで「スポーツ・レジャーに関するもの」
- ・ 男女で嗜好が異なる
- ・ 「情報通信に関するもの」は、若い世代ではなく、50・60歳代の需要が高い

問 12 今後、知識・技能を生かして講師をしてみたいと思うか

- ・ 「思う」が前回の55人から33人に大きく減少

問 14 生涯学習を通じて身につけた知識・技能をどのように生かしているか

- ・ 「自分の人生がより豊かになっている」が最も多く、次いで「家庭・日常生活に生かしている」
- ・ 男女で求める成果が違う

問 16 参加しやすい曜日、時間帯は

- ・ 「平日の午前」が最も多く、次いで「平日の午後」

問 17 「生涯学習ガイドブック」を知っているか

- ・ 23. 4%が「知っている」と回答し、うち23. 5%が活用
- ・ 主に紙媒体での情報提供を希望する60歳代以上のうち、60歳代の認知率が34. 9%（全体の活用率6. 6%）、70歳以上では28. 8%（同10. 6%）
- ・ 部数や配布先を再検討する必要性あり

問 18 「まなびネットとよかわ」を知っているか

- ・ 認知率は6. 3%、うち活用率は16. 7%
- ・ インターネット等での情報提供を求める回答者が多い中、ほとんど活用されていないため、あり方の再検討が必要

- 問 19 市が行っている生涯学習に関する広報や情報提供は十分か
・「もっと情報提供をしてほしい」という回答数が前回よりも36件増加
- 問 20 市の生涯学習への取り組みに満足か
・「かなり満足」、「やや満足」の合計は前回より1%ほど減少
- 問 21 市の生涯学習への取り組みにおいて、今後どのようなことが重要か
・「市民の誰もが参加できるようなライフステージに応じた生涯学習活動を推進する」が最も多く、次いで「講座・教室などの内容を充実する」
- 問 22 家庭の教育力向上に必要なことは何か
・「仕事と家庭生活の調和（ワークライフバランス）を図るために企業が子育てを応援が最も多く、次いで「豊川市などが、子育てに悩む親のために、相談機関や支援機関を充実させる」
- 問 23 地域で子どもを育てるために重要なことは
・「子ども会と老人会が連携するなどして防災など地域課題に取り組むような多世代交流の場を設ける」が最も多い
- 問 24 民間事業者と連携して実施する生涯学習事業で、実現を期待するものは
・「普段は見学できない民間事業者の生産現場などを複数見学し、豊川市のものづくりなどを知るような生涯学習事業」が最も多い

「会 長」 ただいまの説明について、ご意見・ご質問等がありましたらご発言ください。

「委 員」 自由意見については、誤字があったとしても原文のままですか。

「事務局」 はい。修正を加えて意図が変わってしまっただけなので、原文のままです。

「委 員」 アンケートの結果を受けて、短期間で改善できるものとそうでないものがあると思いますが、期間を要するものについては、分析が必要かと思えます。また、次年度の早い時期に実行に移そうと検討しているものはありますか。

「事務局」 結果を受けて見えてきたものがいくつかあります。課題としては「情報発信」や「講座内容の充実」が特に挙げられると思います。できれば、次年度の前半でワークショップを何度か開催し、これらの課題に対するご意見をいただいで改訂版に反映していけたらと考えています。

「委 員」 アンケートの実施方法について、紙媒体で実施されていますが、結果を見ると若い方の回答が少なく、紙媒体ではなくインターネット等を通じての実施も検討されてみてはいかがでしょうか。

「事務局」 前回との経年比較が大きな目的としてあり、方法・条件は変えずに実施しました。委員がおっしゃるように検討は必要かと思いますが、今回に関しては、意図があって紙媒体を使用したとご理解いただければと思います。

「委員」 若い方の意見をより聞けるような形で実施してもらえると、新たなヒントが見つかり、実態把握につながるのではないかと思います。

「委員」 全体的に、40・50代を境目に、求めるものが違っているのが読み取れました。高齢層と若年層のどちらの年代のニーズに対して重点を置くのか、方向性はありますか。

「事務局」 行政として限定することは出来ないので、それぞれに合った施策を展開していくべきだと思います。その際の方策について委員の皆様のお知恵をお借りできればと思います。

「会長」 それでは、他にご意見もないようですので、このアンケート結果を踏まえて、第3次豊川市生涯学習推進計画改定版の策定を進めてください。

「会長」 次に、議題（3）その他の①「豊川市公民館・生涯学習会館再編方針（案）」について、事務局から報告をお願いします。

「事務局」 「豊川市公民館・生涯学習会館再編方針（案）」について、資料に基づき報告

1 公民館及び生涯学習会館の現状と課題

（1）現状

① 施設設置の目的及び経緯

- ・制度の異なる公民館と生涯学習会館が併存（条例の一本化）

（2）課題

③ 施設老朽化等への対応

- ・2030年以降に一斉に耐用年数を迎える
- ・設備類の老朽化に対して、利用者からの改善要望は数多くある
- ・市として公共施設の長寿命化や集約・統廃合を進めている
- ・平成30年度に「公民館施設概況調査」を実施

5 再編施設の管理・運営にかかる考え方

（1）基本方針

① 社会教育施設の条例の一本化

- ・小坂井地域交流会館（仮称）の供用開始に合わせ制定予定
- ・プリオ生涯学習会館を市全体の生涯学習センターに位置付ける
- ・管理運営体制を市直営に一本化

② 再編後の社会教育施設名称（案）

- ・プリオ生涯学習会館を「プリオ生涯学習センター」として市全体の社会教育施設に
- ・その他の公民館・生涯学習会館は、現在の地区名を冠し「〇〇生涯学習センター」とする

③ 公民館の営繕計画

- ・御油公民館…他の公共施設との複合化を前提に、改築を進める
- ・その他3館…長寿命化（牛久保はエレベーターを設置予定）

「会 長」 ただいまの報告について、ご質問等がございますか。

「委 員」 地区市民館との関連を教えてください。

「事務局」 設置根拠や担当課などで区別はされていますが、実態として利用に際して大きな違いはないと思います。現に生涯学習事業も地区市民館で実施されています。

「会 長」 地区市民館の再編も進められているのですか。

「事務局」 公民館・生涯学習会館よりも先行して進められています。

「委 員」 老朽化により改修をされるとのことですが、災害時には避難先となる施設で、そのあたりは考慮されているのですか。

「事務局」 当然、避難所としての体裁も整えなければならないので、防災面も考慮した改修・改築とする考えです。

「委 員」 地域ごとに特徴があって、その地域でどういった生涯学習ができるのかを考えることで、建物の造りや運用方法、利用団体も変わってくると思います。

「会 長」 他にないようですので、②の「第2期豊川市スポーツ振興計画」について報告をお願いします。

「事務局」 「第2期豊川市スポーツ振興計画」について、資料に基づき報告
第1章 計画の基本的事項

1. 計画の位置付け

- ・現行の計画は平成22年3月に策定、平成26年度に改訂版策定

2. 計画期間

- ・令和2年度から令和11年度までの10年間

3. 本計画におけるスポーツの定義

- ・「健康及び体力の保持増進を図るためにされるすべての活動」

4. スポーツ推進の意義

- ・身体的・精神的・社会的・経済的意義がある

5. スポーツに関連する政策等の動向

(1) 世界の動向—SDGs

(2) 国の動向—スポーツ基本法、第2期スポーツ基本計画

(3) 愛知県の動向—いきいきあいちスポーツプラン

第2章 現状と課題

1. 豊川市のスポーツ環境

(1) 競技スポーツ（体育協会やスポーツ少年団）

(2) 地域スポーツ

（スポーツ推進委員会や体育振興会、総合型地域スポーツクラブ）

(3) スポーツ指導者や支援活動

(4) 市主催事業（リレーマラソン等）

(5) スポーツ施設等（市施設・学校開放施設）

2. スポーツに関するアンケート調査結果

(1) 豊川市のスポーツに関する市民意識調査

① するスポーツ

- ・スポーツ実施率が50.4%で現行計画の目標達成
- ・していない理由について、若い年代は「忙しい・時間がない」が多く、年代が上がると「きっかけがない」・「健康上の理由」が多い

② みるスポーツ

- ・スポーツ観戦率は19.1%で前回調査より増加

③ ささえるスポーツ

- ・5.5%で前回調査より微増

④ スポーツの好嫌

- ・スポーツを好きになってもらうことが、各割合を高めることに寄与すると考えられる

⑤ スポーツ環境・施設の整備

⑥ 施策の評価

- ・満足度最高：リレーマラソンなどのスポーツイベントの開催支援
- ・重要度最高：子どものスポーツ機会の充実
- ・重要度が高いものの満足度が低い施策について、優先した取り組みが必要と考える

(2) 小・中学生の運動・スポーツ活動に関するアンケート調査

① するスポーツ

- ・スポーツ実施率が75.3%で成人より高い
- ・実施場所は学校の部活動が多い

3. 豊川市のスポーツに関する課題

- ①ライフステージに応じたスポーツの推進
- ②スポーツに親しむことができる環境づくり
- ③気軽にスポーツを観戦できる環境づくり
- ④スポーツイベントの充実
- ⑤スポーツを支える人材の育成
- ⑥スポーツ団体の連携
- ⑦スポーツ施設の整備・利用促進

4. 総括

<取り入れるべき視点>

- ①好きだからスポーツを「する」「みる」「ささえる」。
- ②個人、団体、地域のすべての人がスポーツを楽しむ。
- ③スポーツの持つ力を「いかし」、交流や連携でまちが活性化。

第3章 計画の基本的な考え方

1. 基本理念

スポーツ大好き！みんなが輝く元気なまち とよかわ

2. 本計画の体系

基本目標Ⅰ スポーツに親しむ機会の創出<する><みる>

基本目標Ⅱ スポーツを楽しむ環境整備 <ささえる><いかす>

基本目標Ⅲ スポーツ施設等の整備・充実

第4章 基本目標に基づく方策の展開

基本目標Ⅰ

－基本方針1 ライフステージ等に応じたスポーツ機会の充実

- ①子どものスポーツ機会の充実
- ②成人スポーツ機会の充実
- ③高齢者・障害者がスポーツに親しむ機会の創出

－基本方針2 スポーツに触れる機会の提供

- ①スポーツ教室やイベント等の開催
- ②トップアスリートに触れる機会の充実
- ③スポーツ情報の発信

基本目標Ⅱ

－基本方針1 スポーツ活動の支援

- ①競技スポーツの推進
- ②地域スポーツの推進

－基本方針2 スポーツ活動の支援を通じた地域の活性化

- ①スポーツイベントによる交流人口拡大
- ②スポーツ団体や異分野との連携の推進
- ③スポーツツーリズムの推進

基本目標Ⅲ

－基本方針1 スポーツ施設等の適正な環境整備

①スポーツ施設の工事・修繕

②学校開放施設の活用

③スポーツ施設のバリアフリーやユニバーサルデザインの推進

－基本方針2 スポーツ施設等の利用促進

①指定管理者制度の有効活用

②施設情報の発信

第5章 計画の推進

1. 推進体制

2. 進行管理

「会 長」 ただいまの報告について、ご質問等がございますか。

「会 長」 特にないようですので、以上を持ちまして、令和元年度第3回社会教育審議会を終了いたします。皆様、ご協力ありがとうございました。

(午後5時 閉会)